

国語科学習指導案

日時 平成27年10月1日(木) 5教時
児童 釧路町立〇〇小学校
5年生(特別支援学級) 計5名
授業者 釧路町立教育研究所
特別支援教育部会

1. 単元名 立場を変えて書きかえよう 「大造じいさんとがん」

単元を貫く言語活動 帯を作って自分の考えを他の人に伝えよう。

活用する言語活動例 本を読んで推薦の文章を書くこと。

2. 単元観

本単元では、読むことの指導事項エに関連し、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、自分の考えをまとめることを目指している。教材『大造じいさんとがん』は、それまで狩りの対象であったがんの頭領「残雪」を、「がんのえいゆう」と認めるまでに大造じいさんの心情が変化し、「残雪」に対する見方や捉え方が大きく変わる様子が描かれている。本作品は、場面の転換や山場の部分などに、大造じいさんと残雪の行動を表す細かい描写や大造じいさんの心情を表す表現などが多く見られる。叙述に即して登場人物の相互関係や心情を読み取ることで、指導事項を身につけていきたい。

3. 児童観

《省略》

4. 研究テーマと本単元・本時案との関わり

「自立する力を育む特別支援教育を目指して」

特別支援教育部会では、小中9年間で児童生徒が自立するための支援や手立てを交流してきた。そして、自立のために、授業の中で自己決定の場を作ることを実践してきた。

本授業では、自分の思いを伝えることが苦手な児童が多いという実態を踏まえ、「帯を作って自分の考えを他の人に伝えよう」という単元を貫く言語活動を設定する。本の帯は限られた大きさの中で、読み手を引きつけたり物語の紹介をしたりするという特徴を持っている。自分の思いを相手に伝える上で、要点をまとめて伝えるということは重要である。4コママンガを使って物語の要点を捉え、相手に伝えたいと思う部分を決めることで、研究テーマの実現に向けたい。また友達との読み合いをすることで、読みとり方に違いがあることに気付き、大造じいさんの気持ちをより深く考察するきっかけにもなるように指導していく。

5. 単元の目標 場面の移り変わりに気をつけて、中心人物の行動や心情の変化を読むことができる。

6. 評価規準

評価規準		
国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
ア、大造じいさんや残雪の心情を表す様々な表現に目をとめて読もうとしている。 イ、帯に書く叙述を選び、自分の読みとったことを伝えようとしている。	ア、大造じいさんや残雪の行動、会話等についての叙述に着目し、心情を想像して読んでいる。 イ、場面の展開に沿って読み、大造じいさんの心情の変化を理解することができる。 ウ、作った帯をもとに、自分の考えをまとめることができる。	ア、語感の違いによって微妙なニュアンスの違いがあることに気づいている。

7. 単元計画 全8時（本時 7/8時）

時間	帯を作って自分の考えを他の人に伝えよう。	主な学習活動	教師の働きかけ 指導のポイント	評価		
				関	読	言
1		<p>○既習事項の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物語の続きを考えたり、意見交換をしたり等、国語の学習では「他の人に伝える」学習をしてきたことを思い出す。 <p>○帯について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯を使って誰に物語を紹介したいかを話し合う。 <p>○学習計画表を用いて、今後の学習の見通しを持つ。</p> <p>○物語の通読を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実物の帯を見せることで、今後の学習に対しての見通しを持たせる。 ・ 物語の内容や帯の特性上、大人の人等の年上の人に向けて書くことが望ましいことが感じられるよう指導する。 ・ 通読の際には物語に聞き入ることができるよう、教科書を見ながら話を聞くよう指示する。通読後に物語の内容について質問することを確認する。 	ア		
2 ・ 3 ・ 4 ・ 5		<p>○ワークシートを使って、場面の読解を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに印刷された4コママンガを確認し、音読をする。 ・ 各コマの場面を表す言葉を文章中から書き抜く。 ・ 書くことができる児童は、さらに言葉を書き加える。 <p>○出来上がったマンガを読み合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 順番に回して読み合い、全員のマンガを読む。 ・ 読み終わった後に、短く感想を伝える。 <p>○最後のコマで大造じいさんはどのような気分になったかを想像して、ワークシートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各コマの場面を表す言葉を見つけるよう指示を出す。 ・ 物語とは関係のない絵とそれを説明する文の例を見せることで、学習に見通しを持たせる。 ・ 文章内の叙述から登場人物の気持ちを想像できるようにする。 ・ できあがったワークシートは、教室内に掲示させる。 		ア	ア
6		<p>○各段落の最後のコマを並べ、大造じいさんの心情の変化を整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡大したマンガのコマを黒板に掲示し、色分けをする。 			
7 (本時)		<p>○大造じいさんの心情が変わる前と後の2コマを選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のワークシートを切り取り、それを貼る。 <p>○大造じいさんの気持ちがどのように変わったかを表す言葉を考え、帯に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯にふさわしい書き方になるよう、工夫して文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帯の見本を例示し、帯に対するイメージを持たせる。 ・ 残雪に対する思いが、どのように変わったかを着目させる。 		イ	
8		<p>○用意された型に沿って物語の紹介を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紹介終了後、感想を書いた付箋紙を友達の帯に貼る。 <p>○大造じいさんに対し、手紙を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物語が終わった後のことに対する質問や、応援や励まし等、物語を読んで抱いた登場人物のイメージに沿って手紙を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各段落の最後のコマを提示する。 ・ コマを選べない児童がいる時は、印象に残った段落を選ばせ、その中からコマを選ばせるよう指導する。 	イ	ウ	

8. 本時案

(1) 本時の目標

帯にまとめる活動を通して、大造じいさんの心情の変化を理解する。

(2) 本時の展開

	○児童の主な学習活動	□教師の働きかけ	評価 ※支援
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○色分けされたコマを見て前時の復習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回色分けをしたけど、気持ちが変わったってことなのかな？ ○学習計画表で本時の活動を確認し、見通しを持つ。 ○本時の課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> □色分けされた理由は何かを考えることができるよう働きかける。 □本時の学習内容を提示し、見通しを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ※① ※② ※③
課題：大造じいさんの気持ちの変化を、自分の言葉でまとめよう。			
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○大造じいさんの気持ちが変わる前と後のコマを帯に貼る。 ○コマの様子を表す言葉を書き写す。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「またしても、残雪のためにしてやられたのだ。」 ・ 「また、堂々と戦おうじゃあないか」 ○大造じいさんの気持ちの変化を、自分の言葉でまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「最初、残雪は敵でしたがやがてライバルのような関係になりました。」 ・ 「大造じいさんは残雪をしとめることに夢中だ。しかし、ある事件が大造じいさんを大きく変える！」 	<ul style="list-style-type: none"> □色分けは、大造じいさんの心情の変化を表すものであることに気付かせる。 □ワークシートに書いた言葉を書き写させる。 □帯の見本を例示し、どのようにまとめればよいのか見通しを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ※④ ※⑤ ※⑥
(読) 帯に書く活動を通して、大造じいさんの残雪に対する心情の変化を理解することができる。			
整理 (5分)	まとめ：気持ちの変化を見つけるには、気持ちを表す表現に注目すると良い。		
	<ul style="list-style-type: none"> ○次時にやることの確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 次は帯を紹介しあうんだね。 		

(3) 本時における支援

全体への支援
<ul style="list-style-type: none"> ・ マンガのコマを活用することで、話の内容を理解しやすくする。 ・ 色分けをすることで、場面の移り変わりを理解しやすくする。
個に応じた支援
<ul style="list-style-type: none"> ※① あらすじを作成しコマと合わせることで、話の内容を理解することができるようにする。 ※② 大造じいさんの心情を短くまとめ、どのように気持ちが変わっていったかを再確認する。 ※③ 理由、根拠となる叙述に着目させ、話の内容に沿って心情を想像させる。 ※④ 帯に書きたい言葉を挙げ、文を作りやすくする。 ※⑤ 文が短くまとめられたレイアウトの帯を見せ、要点をまとめられるようにする。 ※⑥ 穴埋め式の帯を作成し、必要な言葉を書かせる。

(4) 本時の評価

(読) 帯に書く活動を通して、大造じいさんの残雪に対する心情の変化を理解することができる。

(5) 板書計画

大造じいさんとがん

色分けされたコマ

㊦ 大造じいさんの気持ちの変化を、自分の言葉でまとめよう。

㊥ コマと言葉を帯の右側にまとめる。

㊤ 気持ちの変化を見つけるには、気持ちを表す表現に注目すると良い。